

# 山形県感染症発生動向調査

平成30年第22週(5月28日~6月3日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/ 2018年6月6日 発行

### <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※ ◎ :警報レベル ○ :注意報レベル																
人 疾患名	全国		山形県		村山地区			最	上地区	Σ	置賜地区			庄内地	累積(県)	
	第21週	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週		増減	第21週	第22週	増減	第21週 <b>第22週</b>	増減	第1~22週
インフルエンザ定点(定点	医療機関数)		(47)			(20)			(5)			(9)		(13)		
インフルエンザ	1315 0.27		6 0.13	•	0.70	0.30	$\nabla$							0.15	▼	16168
<b>小児科定点</b> (定点图	医療機関数)	(30)		(13)			(3)			(6)		(8)				
RSウイルス感染症	949 0.30	8 0.27	12 0.40	Δ	5 0.38	7 0.54	<b>A</b>		0.33	Δ	2 0.33	0.67	Δ	0.13	$\nabla$	308
咽頭結膜熱	2667 0.85		42 1.40	$\nabla$	0.85	12 0.92	<b>A</b>	1.33	0.33	•	25	26 <b>©</b> 4.33	<b>A</b>	3 <b>3 0.38 0.38</b>	3	397
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9544 3.02	138 4.60	143 4.77	<b>A</b>	59 4.54	80 6.15	Δ	7 2.33	1.33	$\nabla$	48	41 ©6.83	$\nabla$	24 18 3.00 2.25	$\nabla$	2610
感染性胃腸炎	22808 7.23		276 9.20	$\nabla$	135 10.38	108 8.31	$\nabla$	4.67	3.67	•		97 ©16.17	$\nabla$	78 <b>60</b> 9.75 <b>7.50</b>	•	3797
水痘	1868 0.59		22 0.73	$\nabla$	26 2.00	10 0.77	$\nabla$	0.33		$\nabla$	7 1.17	11 1.83	<b>A</b>	2 <b>1</b> 0.25 <b>0.1</b> 3		293
手足口病	2486 0.79	14 0.47	10 0.33	$\nabla$	14 1.08	8 0.62	$\nabla$		0.33	Δ	-	0.17	Δ			283
伝染性紅斑	641 0.20		26 0.87	Δ		0.08	Δ		0.33	Δ	13 ②2.17	24 <b>③</b> 4.00	Δ	0.13	$\nabla$	156
突発性発しん	1933 0.61	17 0.57	19 0.63	<b>A</b>	8 0.62	3 0.23	$\nabla$		0.33	Δ	5 0.83	5 0.83		4 10 1.25 1.25	<u> </u>	321
ヘルパンギーナ	433 0.14	0.80	17 0.57	$\nabla$	8 0.62	8 0.62					16 2.67	9 1.50	$\nabla$			81
流行性耳下腺炎	480 0.15		2 0.07	$\nabla$	0.08	0.08		0.33	0.33		2 0.33		$\nabla$	0.25	$\nabla$	64
<b>眼科定点</b> (定点医:	療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)		(2)		
急性出血性結膜炎	0.03															
流行性角結膜炎	660 0.94	0.50		<b>A</b>	3 0.75				1.00	Δ	1.00			1.00		40
	療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)		(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	99 0.21														_	19
クラミジア肺炎	2 0.00															
マイコプラズマ肺炎	69 0.14		4 0.40	<b>A</b>	2 0.50	1.00	Δ	1 1.00		$\nabla$						60
細菌性髄膜炎	11 0.02		0.10	Δ		1 0.25	Δ									5
無菌性髄膜炎	0.03															3

#### <全数把握感染症>

	<b>、工效心压心不证</b> /						
疾患名		類型		報台	ら数 しゅうしん		備考
		<b>双空</b>	村山	最上	置賜	庄内	1)用 <i>行</i>
	結核	患者				1	
	不合个多	無症状病原体保有者			2		
	つつが虫病	患者	1				
	百日咳	患者	2				ワクチン接種歴:4回 2人。小児 2人。

# <通信欄>

※定点医療機関数が変更になっています。(インフルエンザ定点:48→47)

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:5件、B型:1件でした。

集団発生は、村山地区1件(その他学校:1)でした。

※トピックスで、咽頭結膜熱、つつが虫病について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

#### く定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	
インフルエンザ					2	2									
	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									合計
	1	1													6
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症	2	1	6		3										12
咽頭結膜熱		5	17	4	6	3	4	1		1		1			42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	7	5	21	20	18	20	20	10	2	15	1	3	143
感染性胃腸炎	3	13	29	30	30	27	16	16	20	24	14	45	2	7	276
水痘	1		1			3	3	2	6	4		2			22
手足口病		2	3		1	1	3								10
伝染性紅斑				1	3	6	1	4	5	3	2	1			26
突発性発しん		7	11	1											19
ヘルパンギーナ		3	4	5	3		2								17
流行性耳下腺炎				1			1								2

#### < 平成30年4月 月報 >

#### 2018年5月23日 発行

く 平成30年4月 月報 <i>プ</i> 2018年3月23日 発1												
疾患名		山形県		村山	地区	最上	地区	置賜	地区	庄内	累積(県)	
		3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	1~4月
STD <b>定点</b> (定点医療機関数)		(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	22	14	4	7	11	5	2	2	5		74
圧品グラミング念未延	定点当り	2.20	1.40	1.00	1.75	11.00	5.00	1.00	1.00	1.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	11	2	4	2	3	3	3	1	1	39
注番ヘルヘ人リイル人際発症	定点当り	0.80	1.10	0.50	1.00	2.00	3.00	1.50	1.50	0.33	0.33	39
小キーンパローラ	報告数	3	3	1	1			1		1	2	11
尖圭コンジローマ 	定点当り	0.30	0.30	0.25	0.25			0.50		0.33	0.67	
344 <del>245</del> FEB 820 value	報告数	4	2	1	2					3		9
淋菌感染症	定点当り	0.40	0.20	0.25	0.50					1.00		9
<b>基幹定点</b> (定点医療	機関数)	(1	0)	(4	4)	(	1)	()	2)	(;	3)	
ペニシリン耐性	報告数	9	11			2	2	2		5	9	29
肺炎球菌感染症	定点当り	0.90	1.10			2.00	2.00	1.00		1.67	3.00	29
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	18	13	11	1	1	1		6	6	72
	定点当り	2.10	1.80	3.25	2.75	1.00	1.00	0.50		2.00	2.00	12
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り					_						

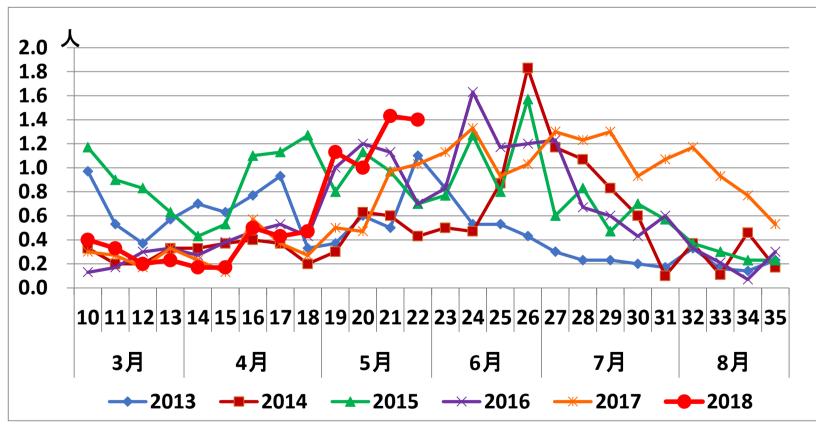
# **<トピックス>**

# 【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。 県平均の定点当たり報告数は、過去5年の同週に比べ、最も多くなっています。

# ・咽頭結膜熱 警報開始基準値:3人警報終息基準値:1人 ・第22週 定点当たり報告数(山形県:1.40人) 村山:0.92人、最上:0.33人、置賜:4.33人、庄内:0.38人

# ・定点当たり報告数の推移(山形県)



#### 咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスに感染することによっておこる小児の急性 ウイルス性感染症で、主な症状は、発熱、咽頭炎、眼症状です。

通常夏期に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

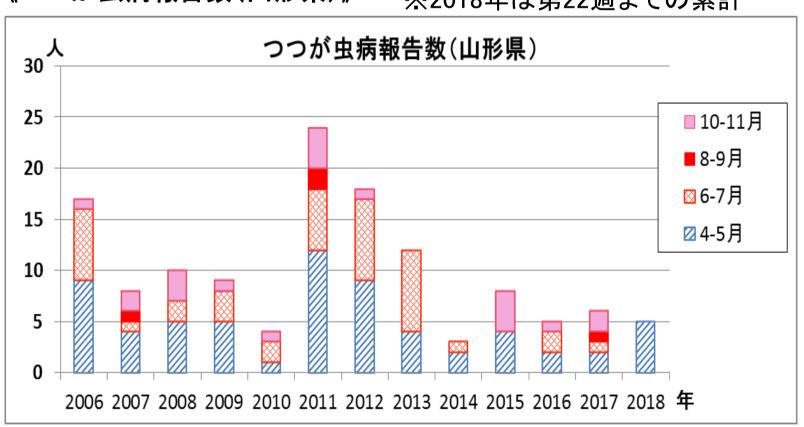
《症状》発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3~5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

**《予防法》**感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりすることが大切です。

### 【つつが虫病情報】

今年5例目のつつが虫病の報告がありました。5月までの報告数は、最近 5年間で最も多くなっています。つつが虫病は山形県では、春から初夏にか けて多く発生しますので今後も注意が必要です。

《つつが虫病報告数(山形県)》 ※2018年は第22週までの累計



**《症状・治療》**発熱(38~40°C)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状はツツガムシ幼虫に刺されてから5~14日後にみられます。

治療法としては、テトラサイクリン系抗生物質が極めて有効で、早期に治療すれば完全に治ります。しかし、治療が遅れれば重症化する場合があるので、早期に治療を受けられるよう、**受診の際は、医師に数日前にツツガムシの** 

#### いそうな場所に立ち入ったことや、刺し口があることを伝えましょう。

《予防法》ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。これらの場所に立ち入る時は、次のようなことを心がけることが大切です。 ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。 ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。

③なるべく草むらに直接座らない。

④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。